

ご存知ですか？ COPD (慢性閉塞性肺疾患)

喫

煙がもたらす危険な肺の病気

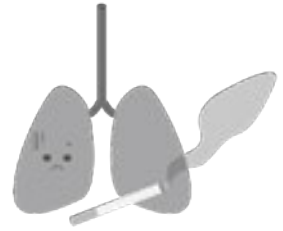
問い合わせ先 健康課健康づくり班 ☎25-7973

COPD (慢性閉塞性肺疾患) は、主にタバコの煙などの有害物質を長期間吸い込むことで肺が壊れる進行性の病気です。重症化すると、少し動くだけでも息切れしてしまい、酸素吸入が必要になるなど生活に大きな影響があります。

最大の原因はタバコであり、COPD患者の90%は喫煙者といわれています。一度壊れた肺の機能は戻ることはありません。

COPDの予防には禁煙が効果的です。禁煙は喫煙者のCOPDを予防するだけでなく、周囲の人への受動喫煙防止にもつながります。

タバコを長期間吸っている人で、1日に何度も咳が出る、息切れしやすい、黄色い粘り気がある痰が出る、呼吸をするとゼイゼイ・ヒューヒューと音がするなどの症状がある人は、かかりつけ医に相談しましょう。



11月の3歳児健診

むし歯のなかったお子さん



1区
上野 那菜 ちゃん



2の3区
小林 侑乃 ちゃん



3区
佐藤 りん ちゃん



5の1区
及川 楓真 くん



5の1区
上野 由姫奈 ちゃん



9の2区
野田 伊織 くん



9の3区
佐藤 咲来 ちゃん



9の3区
佐藤 結月 ちゃん



城山区
伊藤 虹陽 ちゃん



長根区
木村 美月 ちゃん



岸ヶ森区
佐々木 ゆあん ちゃん



短台区
江刺 瑞生 くん

第20回涌谷高校書道部書作展

本年度の各種書道展や文化祭などで制作した作品と、書道の授業で制作した作品を展示します。

▶期間 1月25日(日)～2月14日(土)
9時30分～16時30分
初日は13時から
最終日は12時まで
(毎週水曜日は休館日)

▶場所 くがね創庫 ▶入場料 無料
▶問い合わせ先 くがね創庫 ☎43-6066



涌谷公民館美術作品展

涌谷高校美術部の作品展を開催します。高校生が本気で制作した美術作品を鑑賞してみませんか？

▶期間 2月2日(月)～2月23日(月)
9時～21時
▶場所 涌谷公民館
▶入場料 無料



大崎・栗原圏域文化財巡回パネル展

大崎および栗原圏域の各市町に伝わる民俗や芸能などをパネルで展示します。涌谷町は、明治時代後半から大正時代にかけて、町の特産品として盛んに作られた杞柳(クリヤウ)細工を紹介しします。

▶期間 1月20日(火)～2月5日(木)
9時～21時
▶場所 涌谷公民館 ▶入場料 無料



涌谷公民館図書室

1月7日は人日の節句にちなんで、健康に関する本を紹介します。

【一般書】歩く マジで人生が変わる習慣 著 池田光史

「歩く」という人間の本質的な行為が、いかに私たちの脳と身体を鍛え抜き、生産性やクリエイティビティを高め、さらには現代人が抱えるあらゆる問題を解決する鍵になるのかをさまざまな視点から描かれる一冊です。

ちいさなちいさなおはなし会(対象年齢3歳以上)

紙芝居や絵本の読み聞かせ会を1月24日(土)10時30分から11時まで涌谷公民館談話室で開催します。

事前申込は不要です。お気軽に遊びに来てください。

蔵書点検による休室のお知らせ

蔵書点検を行うため、2月3日(火)から2月11日(水)まで休室となります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ先 涌谷公民館図書室 ☎25-5501

涌谷高校の生徒による「小さな美術館」

涌谷高校2学年の総合的な探究の時間で、涌谷町を彩り豊かな町にしたいと考え、小さな美術館を計画しました。涌谷高校の生徒が作った作品やきものリフォーム倶楽部からお借りした作品を展示します。

▶期間 1月16日(金)～1月29日(木)9時30分～14時30分
▶場所 涌谷公民館 ▶入場料 無料
▶主催 涌谷高校2学年「総合的な探究の時間」

問い合わせ先 涌谷公民館 (生涯学習課) ☎43-3001

昨年6月に地域おこし協力隊に着任し、半年が過ぎました。この期間で最も大きな挑戦は、涌谷町公式LINEアカウンントの制作です。「町の暮らしを、もっと近く、もっと便利に」を軸に構成を整え、町民が利用しやすいデザインを検討。無事、11月1日(土)の公開日を迎えました。

活動を支える大きな力は、町民の皆さんとの出会いです。町民文化祭などで金継ぎ作品を展示し、「やってみたい」との声を多数いただき、金継ぎが人のご縁までつながることを実感しました。今後は技術を磨き、金継ぎ教室をやりたいと思っています。

また、公民館で始めたLINE教室は好評で、参加者の方々が「できた！」と明るくなる姿が嬉しく、来年から定期開催を予定しています。他に



涌谷町地域おこし協力隊 内藤康子隊員

も、東京・有楽町のみやぎ移住交流フェアでは、涌谷町のPRスタッフとして、充実した時間を過ごしました。11月には石垣島の写真クラブ「美らLABO」の仲間との写真展に、涌谷の秋をテーマに15点を展示。紅葉のない島の方々に大変喜ばれ、「これが秋か！」と目を輝かせた小学生の姿が心に残っています。さらに、商店街NEXTリーダーセミナー基礎講座を修了し、県知事から修了証を拝受しました。視察や講話で得た学びを、まち中エリア活性化ワークショップの経験とともに、今後の活動に生かしてまいります。

これから冬本番ですが真雁や白鳥が往来する景色に心を温めながら、元気に活動していきます。皆さまどうぞご自愛ください。

戸籍の窓

11月1日～30日届出分

(行政区順 敬称略)

誕生おめでとう

お悔やみ申し上げます

生まれた人

お亡くなりになった人

氏名	行政区
井田 憲章	7区
吉岡 流菜	9の2区



氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
海上 みよこ	91	2の1区	鈴木 紀子	89	城山区
石山 啓三	72	2の3区	中川 勝	84	上町区
山本 すじよ	96	9の3区	佐藤 正好	75	上郡1区
石川 なつ	91	9の3区	佐藤 仁義	65	小里区
只野 せい子	95	11区	二瓶 博貴	29	吉住区
星 なほ子	87	下小塚区	阿部 きよ子	85	大谷地区
遠藤 要之助	83	下小塚区			

町民生活課総合窓口班で掲載希望の有無について確認をとり、希望された人のみ掲載しています。

涌谷町の人口

11月30日現在()内は前月比

人口と世帯		令和7年11月の動き	
人口計	13,997人 (-11人)	出生 2人	死亡 23人
男性	6,893人 (-11人)	転入 25人	転出 15人
女性	7,104人 (0人)	令和7年の出生および死亡	
世帯数	5,979世帯 (-1世帯)	出生 35人	死亡 239人

休日診療当番医

日程	医療機関名	電話番号	日程	医療機関名	電話番号
1月 1日(木)	涌谷町国保病院(涌谷町)	☎43-5111	1月11日(日)	熱海医院(美里町)	☎33-2020
1月 2日(金)	東泉堂病院(涌谷町)	☎42-3333	1月12日(月)	宮野内科医院(涌谷町)	☎43-5031
1月 3日(土)	わくや整形外科(涌谷町)	☎43-5553	1月18日(日)	いせ内科クリニック(美里町)	☎87-8767
1月 4日(日)	米谷医院(涌谷町)	☎44-1133	1月25日(日)	美里町立南郷病院(美里町)	☎58-1234

各感染症の感染拡大を防止するため、発熱している場合は、一度電話連絡の上、病院で受診するよう、お願いします。受診の際には保険証を持参してください。診療時間は9時～17時です。当番医は変更になる場合があります。

子どもの救急医療情報

石巻市夜間急患センター	電話番号	0225-94-5111
	夜間診療時間	月～金：19時～22時
		土曜：18時～翌朝7時 日曜日・祝日：18時～翌朝6時(翌日が祝日の場合は翌朝7時まで)
宮城県子ども夜間安心コール 夜間の子どもの急な発熱・怪我のときの電話相談です。診療は行いません。	電話番号	プッシュ回線の固定電話・携帯電話から：#8000 プッシュ回線以外の固定電話・PHSから：022-212-9390
	相談時間	毎日午後7時から翌朝8時まで



黄 金 人



古川工業高校建築研究部2年生

和田心花さん(写真左)・秋山躍斗さん(写真右)

測り削り組み上げる 若き匠たちの挑戦

令和7年11月1日(土)に、令和7年度高校生ものづくりコンテスト宮城県大会の木材加工部門が開催され、古川工業高校建築科で、建築研究部2年の和田心花さんが優勝、同じく2年の秋山躍斗さんが第3位に輝きました。優勝を果たした和田さんは、来年度青森県で開催される東北大会に、宮城県代表として出場します。

2人は涌谷町出身で、中学時代は、和田さんはバレーボール部、秋山さんはサッカー部で汗を流しました。古川工業高校建築科への進学のことについて、和田さんは「父が自宅でDIYをよくしており、工具に触れる機会が多かった。その影響でもものがづくりが好きになり、同校を選んだ」と振り返ります。また、秋山さんは「祖父が日曜大工をする姿を見て、幼い頃から大工になりたかった」と語ります。

識を深めるため、2人は建築研究部に入部。同部は、パズルやプランター、積み木などの木工作品を製作し、文化祭や地域イベントで展示・販売しているほか、高校生ものづくりコンテスト木材加工部門への出場に向けた木材加工技術の習得などを主な活動としています。入部後、2人は同大会での上位入賞を目標として練習に励むようになりました。

木材加工部門は、一次審査では40分間で現寸図を作成し、二次審査ではその図面を基に、角材の状態から木ごしらえ・加工・組立までを3時間で行います。完成した作品の精度を競う水分量の違いがあり、わずかな誤差が仕上がりに大きく影響します。寸法の正確さももちろん、木材同士を隙間なく、かつ、きつすぎない状態で組み上げる高度な技術が求められます。

してきました。和田さんが最も苦労したのは、斜めに立つ柱の底面加工です。「底面は正方形ではなく、わずかにひし形にしないと隙間が生まれる。角材は正方形なので、それをひし形に整える癖取り作業が本当に難しかった。削りすぎてしまうことも多く、何度も確認しながら進めた」。秋山さんは、細部の精密な加工にこだわってきました。「現寸図がずれると、組み立てた時にわずかに入らなかつたり緩くなつたりする。また、目印の墨線をどこまで残して切断するか、その数ミリの判断で完成度が大きく変わる。しかも3時間以内に全工程を仕上げなければならぬので、時間配分も難しかった」と競技の厳しさを明かします。

そして迎えた令和7年度高校生ものづくりコンテスト宮城県大会。県内各地の工業高校から10人の生徒が参加し、磨き上げてきた木材加工の腕前を競い合いました。結果は、和田さんが見事優勝を果たし、秋山さんが第3位。「昨年は時間内に完成させることで精一杯だったが、今年は時間に

余裕ができ、細部の精密さにこだわることが勝因。優勝できて誇らしい」と和田さん。秋山さんは「昨年2位で、今年こそは優勝を目指していただけに悔しさもあるが、作品は昨年より綺麗に仕上げられた」と前を向きます。

顧問の鈴木真暢先生は「二人は切磋琢磨しながら技術を高めてきた。和田さんは地道に努力を続け、秋山さんは研究熱心で改善点を考え続ける生徒。今回の結果は、その積み重ねの賜物」と評価します。今後について、高校生ものづくりコンテスト東北大会に出場予定の和田さんは「さらに精密さを磨き、出場するからには上位入賞を目指したい」と意気込みます。一方、秋山さんも「大会への挑戦はこれで一区切りですが、ここで身につけた技術や知識を将来に生かしていきたい」と前を見据えます。ものづくりにすべてを懸けた2人の挑戦は、揺らぐことのない確かな基礎として、これからの歩みを支え続けます。



広報わくや

令和8年1月1日

通算846号

【編集・発行】

涌谷町 企画財政課 企画班

〒987-0192

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2

TEL 0229-43-2112

FAX 0229-43-2693

E-mail gr_kikaku@town.wakuyamiyagi.jp

URL https://www.town.wakuyamiyagi.jp

【印刷】

株式会社印刷所